



右より
寺田 英幸議員
竹内 基二議員
竹内 照夫議員
近藤 眞弘議員
川口 眞弘議員
草野 聖地議員

今後とも、湖誠会並びに会派所属議員に對しまして、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
幹事長 近藤 眞弘

湖誠会では、引き続き新型コロナウイルス感染症対策に取組むとともに、安心して子育てができる環境づくり、安心して日々楽しく暮らせる健康長寿社会の実現や道路インフラ整備、社会保障や教育環境の充実に向け取組んでまいります。

このような中、2月21日に開会した2月通常会議では56議案が提出され、当初予算案は「夢があふれるまち大津」の実現に向けた予算と位置付け、新型コロナウイルス感染症による厳しい影響から、市民の命と暮らし、事業者の営みを守るための取組を継続的に実施するとともに、ウィズコロナ社会を見据え、大津市総合計画第2期実行計画リーディングプロジェクトに沿ってこれから本格的に直面する少子高齢化社会への移行、時代の変化に沿った取組として活力ある地域づくりの推進・デジタル化への対応・グリーン社会の推進と3つのテーマの横断的・相乗的な取組の推進に向け編成され可決成立しました。

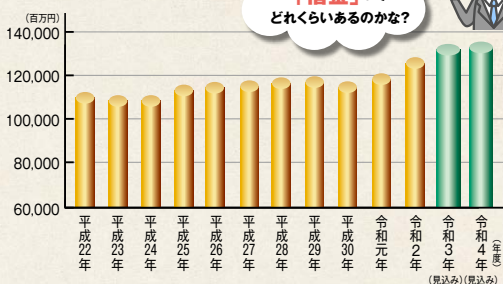
新型コロナウイルス感染症の感染拡大は2年経った今も収束が見通せません。第6波では多くの感染者が確認され、児童生徒への感染も拡大し高止まり傾向となっていますが、3回目のワクチン接種、満5歳以上のワクチン接種も始まったことから、これらを機に早期の収束を願うものです。

また地方独立行政法人 市立大津市民病院の医師の退職に関する一連の報道に関し、市民、患者の皆さまにご心配をおかけしております。今後の医療提供体制について説明を求めているところであり、このほかにも市政においては多くの課題が山積していますが、わが湖誠会は常に問題、課題の解決に向け精一杯取り組んでいるところです。

ごあいさつ



一般会計の借入金(市債) 現在高の推移



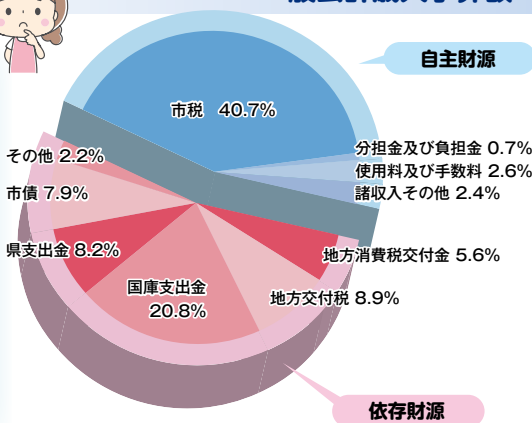
令和4年度末市債残高見込額 総額 **131,986,691,000円**
市民一人当たり **383,688円**

大津市の財政って大丈夫なの?

歳入解説

(市税の主な内容)
・市税収入は、個人市税、法人市税、固定資産税、都市計画税、地価増徴、コロナ禍であったが、果敢と必要で個人消費が堅調に推移、売上減に対する支援施策の効果が見られた。
(全体)
・市の借入にあたる市債残高が増加し、市の健全財政に関する基準を超える見通しとなった。将来への積極的な投資が、次世代へつぎを回すことにもなりかねないことから、費用対効果を重視し、効率的な行政運営ができるかが課題となる。

一般会計歳入予算額

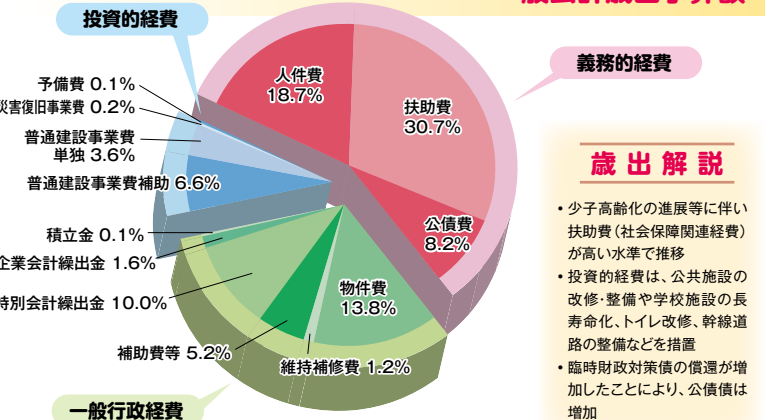


令和4(2022)年度各会計予算額

(令和3年度当初第1次補正後予算比)
一般会計 (0.8%) **1,246億4,000万円**
特別会計(8会計) (1.4%) **731億3,645万8千円**
企業会計(3会計) (△2.6%) **317億8,999万9千円**
合計 (0.5%) **2,295億6,645万7千円**
※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計

令和4年度当初予算は、前年度と同様、新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化、医療提供体制の確保を重点に置きつつ、時代の変化に沿った取り組みとして、定住支援、若者の転入促進等による人口維持や商工団体支援をはじめとした市内経済活性化を図る「活力のある地域づくり」、行政サービスのデジタル化、デジタル人材育成などの「デジタル化への対応」、再生可能エネルギーの導入などの「グリーン社会の推進」に積極的に取り組むとともに、大津市総合計画第2期実行計画リーディングプロジェクトの2年度目として、計画に掲げた「夢があふれるまち大津」の実現に向けた各種施策の推進経費を盛り込んだ予算として編成されたものです。

一般会計歳出予算額



歳出解説

・少子高齢化の進展等に伴い扶助費(社会保障関連経費)が高い水準で推移
・投資的経費は、公共施設の改修・整備や学校施設の長寿命化、トイレ改修、幹線道路の整備などを措置
・臨時財政対策債の償還が増加したことにより、公債償還は増加

市民一人当たりの予算額362,331円はこんなふうに使われます



- 令和4年度当初予算が市議会2月通常会議において可決されました。
- 令和4年度予算は、引き続き「新型コロナウイルス感染症対策」に重点を置いて取り組みつつ、市民が安心して安全に暮らせることができるまちづくりも推進していくための効果的な予算となりました。
- ウイズコロナアフターコロナを見据え、適切な市民サービスを提供するため、時代の変化に沿った取り組みを進めながら、健全な財源運営維持を前提に、各種の行政課題に機動的に対応できるよう、働きかけていきます。
- 新型コロナウイルス感染症対策**
●市立大津市民病院における感染症医療の充実・強化 1億9,886万円
●新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 9億4,590万円
- 時代の変化に沿った取り組み 活力ある地域づくりの推進 人口維持施策**
●新生児等特別定額給付金 8,833万円
●若者層の転入促進事業 2,000万円
●結婚新生活支援事業補助金 2,000万円
- 市内経済の活性化**
●大津市地域産業振興条例とビジョンに基づく事業 1億1,200万円
●キャッシュレス決済ポイント還元事業 3,000万円
●商工団体等提案事業補助金 3,000万円
- デジタル化への対応 自治会ふれあいネット導入支援**
●自治会活動のデジタル化を促進するための支援 3,500万円
●子育てアプリ改修 1,391万円
- グリーン社会の推進**
●「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取り組み
●市役所の率先した取り組み 8,338万円
●本庁舎使用電力100%再生可能エネルギー化 2,790万円
●フードロス対策(学校給食の残食削減) 2,790万円

市議会 2月通常会議

会派代表質問

湖誠会 近藤 眞弘 幹事長

質問項目

- 令和4年度予算編成及び取り組みについて
- 大津市民病院の医療提供体制について
- コロナ禍における学校教育活動について
- 道路網整備と道路の維持管理について



近藤 眞弘 幹事長・代表質問

Q 厳しい財政状況の中、少子・高齢化の進展、公
共施設の老朽化、コロナ禍の経済への影響など、
考慮しなければならない様々な課題を抱えながらの予算
編成であったと推察するが、市長は、どのような点を重
視し、また、どのような点に留意して令和4年度予算を
編成されたのか。

A 新型コロナウイルス感染症による影響から、市
民の暮らしや事業者の営みを守るための取り組み
を継続しつつ、ウィズコロナ社会を見据え、未来に向けた
時代の変化に対応すること、総合計画第2期実行計画を
着実に進捗させることを重視した。また、持続可能で安
定的な財政運営を堅持するとともに、事業の効果や有効
性を見極めた精査を尽くすこと、国県補助金等の有効な
財源を最大限に活用することに留意した。

Q 市民病院の医師の一斉退職に関する報道により、
市民や患者は大きな不安を感じている。地方独立
行政法人であるため、市に人事権等がないことは承知し
ているが、設置者として、最大限の対応をすべきであ
ると考える。市民の不安の払拭、医療提供体制の堅持のた
めにどのように対応するのか。

A 市民への情報発信や患者への丁寧な説明など、
影響を最小限に抑える努力が必要であることから
市民病院に対して早急な対応を求めているところである。
また、今後の医療提供体制については、本来、市民病院
の業務運営は、法の規定に基づき法人が自律的に行うべ
きものであるが、地域医療を維持する観点から設置者と
して全力を尽くしていく。

Q 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、
児童・生徒の学校での生活は大きく変化している。
児童・生徒の心理面に影響を及ぼしているのではないかと
危惧しているところであるが、どのように対応してい
るのか。

A 不登校児童生徒数が増加傾向であることや、感
染不安で学校に登校できない児童生徒もいること

から、学校や家庭だけでなく社会全体で、子どもが安
心して過ごすことのできる居場所を設けることが重要
であると考えている。マスクで表情が見えないことや、
家庭での様子が分かりにくいことなど、心理状態を把
握する難しさもあることから、今後は保護者をはじめ、
専門家や関係機関との連携をより一層進めながら支援
に努めていく。

Q 国道1号バイパス大津―京都間については、
「慢性化している交通渋滞」「国道1号の逢坂山
区間の災害時の脆弱性」という課題の解消や、整備中
の栗東水口道路の供用後に予想されるさらなる混雑の
緩和のために早期整備が必要である。滋賀県等と連携
し、国への働きかけを強めていくべきと考えるが、令
和4年度の取組方針は。

A これまでから、本市単独での要望に加え、滋
賀県、京都府の関係自治体や商工会議所、トラッ
ク協会等で構成される「滋賀・京都間の新しい国道1
号バイパス建設促進期成同盟会」において継続して要
望活動を実施してきており、引き続き、滋賀県、京都
府の関係自治体等との連携を一層図りながら、早期整
備に向けて取り組んでいきたい。

Q 高齢者の健康を守り、健康寿命を延伸させて
いくための施策は今後ますます重要になる。令
和4年度に実施する「高齢者の保健事業と介護予防の
一体的実施事業」をより効果的なものにするために、
高齢者の健康に対する意識啓発を図ることが必要であ
るが、どのように取り組むのか。

A 運動や食生活の改善を効果として実感するこ
とが重要であるため、体脂肪や体重、歩数や食
事内容等を記録して課題や取り組み状況を見える化し、
気付きと取組の継続を支援したいと考えている。あわ
せて、健康運動指導士等の専門職によりデータ等の評
価を行うとともに、本人と生活改善の効果や成果につ
いて共有し、健康的な生活習慣の定着に向けて助言を
行っていく。

※他に3項目の質問あり。

2月通常会議一般質問

Q 竹内 照夫 議員

整備事業における膳所駅南側の
歩行者導線等の改善について

膳所駅周辺整備推進事業においては、
橋上駅舎及び新南北連絡道路が完成し
たが、駅南側は未だ変化がない。国道
やJRの駅舎からの上下移動や国道ま
での歩行者導線の課題など、利用者にと
つて非常に不便な状況が長年続いて
いるが、改善を求める真摯な要望に対
して市はどのように応えていくのか。

A 現在の膳所駅南側には南北連
絡道路と国道1号を結ぶ暫定歩
道は歩行者動線に課題があるため、市
民病院方面に向かう新たな暫定歩道の
整備に向けて関係者と協議しており、
令和4年度において、安全性の確保と
利便性の向上に向けた整備を進めたい。

※他に1項目の質問あり。

Q 寺田 英幸 議員

カーブミラーの適正な管理に
よる道路の安全対策を

損傷や汚れなど
で機能していない
市道のカーブミラー
が見えなくなる。機
能しないまま放置
している意味が
ないため、適切な
管理が必要と考えるが、これらの管理
体制と適切な維持管理に向けた具体的
な今後の取り組みは。



A 市民通報システム、道路パト
ロールを通じて得た情報に加え、
地域からの情報をもとに、損傷等を確
認して適宜補修を行ってきたほか、策
定を進めている道路施設長寿命化修繕
計画において、カーブミラーを対象に
含める考えであり、計画的な点検と効
率的な管理に努めていく。

※他に3項目の質問あり。

Q 川口 正徳 議員

地域防犯推進のための
再犯防止の取り組みについて

刑法犯認知件数に占める再犯者の割
合は増加傾向にあり、地域防犯の推進
には、再犯者を減少させることが重要
である。再犯者は、就労、住居、医療
など複数の課題を抱えていることが多
く、その解消に向けた支援が必要であ
るため、行政と関係機関との連携が重
要になるが、今後どのように取り組む
のか。

A 再犯防止の取り組みを促進す
るための滋賀県地域協議会にお
いて、更生を支える関係団体や関係機
関に情報提供を行うとともに、今後、
再犯防止推進計画を含んだ計画である
地域福祉計画に定める施策においても
連携を図るような仕組みづくりにも
取り組んでいく。

※他に2項目の質問あり。

Q 竹内 基二 議員

携行缶でのガソリン販売に
おける管理と対応策について

令和元年7月の京都アニメーション、
令和3年12月の大阪市北区のクリニッ
クでの放火殺人事件は、いずれもガソ
リンによるものであった。法により携
行缶でのガソリン購入が認められては
いるものの、危険性を踏まえた対応が
必要であると考え、対応策は。

A ガソリンスタンドに継続して
販売管理の徹底を指導していく
とともに、市民や事業所に対しては、
同様の事態に遭遇した際に取り得る避
難上の留意事項や火災発生時の基本行
動などをまとめた広報紙を新たに作成
し、あらゆる機会を捉えて周知してい
くことで、同様の事案の抑止と被害の
軽減に努めていく。

※他に1項目の質問あり。

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは大津市議会ホームページをご覧ください。